

中学生ら一五〇名に発表 「私たちの未来」 探究学習発表会

十月二十一日、なびあすで第四回「私たちの未来」探究学習発表会が開催された。二年生と三年食物科の生徒がこれまで個人やグループで行ってきた探究活動の成果を中学生らに発表した。

開会式では、代表として、三十四の山下藍梨さんと石嶋あいらさんが昨年度の探究活動で制作した「Rainbow」という曲を披露した。この活動は二年生が引き継ぎPR動画を一新して完成させた。

会場設営や企画書作成等、苦勞した点を挙げた。口頭発表Ⅱは「ガチャ旅」JR小浜線と嶺南地域の活性化。利用者減少が続くJR小浜線の利用促進のために「ガチャ旅」というイベントを企画し、

これまで二回実施したことを報告した。また、この活動を高校生ボランティアという全国大会で発表したり、英語でスピーチしたりと活動の広がりにも触れた。

その後は各ブースに分かれて、全三十三組のポスター発表が行われた。『子供歌舞伎』や『三方五湖の伝統漁法』『居場所づくりでヤングケアラーを救えるか』などの様々なテーマで発表を行った。三年食物科は駅弁開発やカフェ運営の発表を行い、カフェのチケット販



生演奏する山下さん

売も行った。発表を聴いた中学生は「金銭面やターゲットを絞ること等、自分たちにできなかったことがすごいと感じた」と各テーマに特徴があり、まだ知らない福井の良さを知れた」と話した。

閉会式では福井大学の浅原雅浩教授から「地域と協力し、支援してもらえ関係構築して活動を行っていた」と講評をいただいた。

探究活動はこれが一区切りが良かった。今後はコンクールに応募したり、様々な場所で発表したりしていく。



JR小浜線

口頭発表Ⅰは「梨フェス」岩屋梨の魅力を広めたい。現三年生が提案した梨フェスの企画を、二年生が受け継ぐ形で実現したものである。発表では岩屋梨についてクイズを交えながら紹介した後、梨フェス実現までの流れを細かく説明した。また、

ポスターを使って発表



ポスターを使って発表



画像を使いながら説明する

十二月二十四日
クリスマス・イブ

赤色じゃない
誰だあれ！

ねえ知ってる？
限定コラもった！

三年生活情報科 シビルウェディングを企画 愛が詰まった模擬結婚式

十一月二十一日にユミカツラミュージアムで、三年生活情報科による模擬結婚式が行われた。生徒は六月から、全日本ブライダル協会とユ

ミカツラミュージアムの協力のもとブライダル学習を行ってきた。日本の少子化問題や福井県の結婚事情、日本や世界の婚姻の歴史、結婚式



四ホーム全員で素敵な集合写真

アメイクや音響など二十五人全員がそれぞれの役割を担い、ホーム一丸となって本番に臨んだ。花嫁の父役となった石川先生は「自分にも娘がおり、感慨深くジーンときた。参加できて嬉しかった」と喜びを表した。

プロデューサーを担当した野崎美羽さんと中村爽笑さんは「ウェディングの勉強ができて良かった。式に向けて大変なこともあったが、無事に終えて達成感がいっぱい。ホームのみんなで式を成功させられて嬉しい」と語った。



桂由美さんデザインの衣装を着てランウェイを歩く

に關わる職業等、様々な内容を学んだ。九月からは具体的な構想を固めていき、新郎新婦や司式者の役、へ

ミュージアム館長の西村さんは「本番は自分たちの役割がしっかりとこなせていて大成功だった。感激している」と評価した。



お世話になった講師の先生

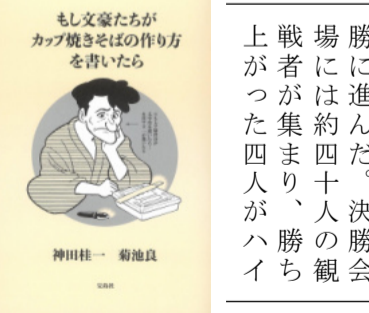
福井県ビブリオバトル三位 おすすめ本を熱くプレゼン

十一月三日に福井県立図書館で、第十回福井県高校生ビブリオバトルが開催された。県内の高校生十五名が参加し、美北口心菜さんが参加



熱心にプレゼンする北口さん

した。ビブリオバトルとは、発表者がおすめの本を持ち寄り一人五分でプレゼンし、観戦者が一番読みたいと思った本に投票するというものだ。今大会は、生徒に本との出会いの場を設け、プレゼンテーション力やコミュニケーション力向上を図るという意図で開催された。



太宰治、星野源、HIKAKIN風な文体で綴る、カップ焼きそば作りのコメディ短編集

十五人の発表者たちは四グループに分けられ、グループ内で一位のチャンピオンを決める予選と、グループ代表者で行う決勝で戦った。参加者は様々な工夫を施しながらおすめ本を紹介し、会場は時折笑いに包まれていた。

北口さんは「もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら」というエッセイで大会に挑むと、予選でグループのチャンピオンに選ばれ、決勝に進んだ。決勝会場には約四十人の観戦者が集まり、勝ち上がった四人がハイ

レベルなプレゼンを繰り広げた。発表を終えると、互いに称賛し合う様子も見られた。結果は、一位が「さよならドビュッシー」二位は「サクラサク、サクラチル」。北口さんは三位となった。北口さんは「結果は三位に終わったが、色々な本に出会うことができるいい機会になった。自分のプレゼン力を磨くこともできたので、是非これからも美方高校から参加してほしい」と語った。